

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	地理学		
担当者(Instructors)	山本 晴奈	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

講義を通じ、地理学に関する体系的知識を概説するとともに、主に人文地理学における主要な議論を紹介する。授業の前半では地理学の基礎概念や調査手法を取り上げ、地理学の研究にあたってどのような資料・データが利用されているか、またその収集や分析方法を論じる。授業の後半では、政治、文化、経済といった事象を扱う下位分野ごとに、地理学における主要な論点を提示する。

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	パワーポイントを使用した講義を中心に進める。各回ごとに理解度を確保するための小テストを実施する。同時に、コメントシートを使用し、質問や疑問点へのフィードバックを行う。文献資料を通じた予習・復習も行う。なお、一部の授業をメディア授業として開講する場合がある。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	イントロダクション： 地理学の分野構成	地理学の分野構成について概観する。	<input type="checkbox"/>
第2回	地理学の重要概念	特に人文地理学における重要な概念について紹介する。	<input type="checkbox"/>
第3回	近代地理学の発展	環境論の展開に至る19世紀頃までの地理学の成り立ちを学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第4回	地理学的調査の手法	地図の種類や製作、フィールドワークといった地理学の研究手法について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	文化地理学	サウアーが展開したアメリカでの文化地理学研究を中心に、地理学における文化・景観・地域の概念を紹介する。	<input type="checkbox"/>
第6回	経済地理学①：産業立地論	地理学における農業・工業の立地に関する研究を紹介する。	<input type="checkbox"/>
第7回	経済地理学②：商業の空間	20世紀以降の商業の発展とそれに伴う経済活動の空間的再編について、日本の事例を取り上げ説明する。	<input type="checkbox"/>
第8回	集落地理学・人口地理学	集落と人口集積に関する地理学的視点を紹介する。	<input type="checkbox"/>
第9回	都市と農村： 農村地理学	農村の空間的特徴や、日本の農村空間の変化と課題について紹介する。	<input type="checkbox"/>
第10回	都市と農村： 都市地理学	都市の空間的特徴や、都市構造に関する研究について紹介する。	<input type="checkbox"/>
第11回	都市と農村：社会地理学①	社会における文化的・身体的・性的多様性が、都市空間にどのように現れるのかといった社会地理学の視点について紹介する。	<input type="checkbox"/>
第12回	都市と農村：社会地理学②	社会における文化的・身体的・性的多様性が、都市空間にどのように現れるのかといった社会地理学の視点について紹介する。	<input type="checkbox"/>
第13回	政治地理学	人々の暮らしの中の政治的現象や、政治と空間の関係に関する地理学の理論について紹介する。	<input type="checkbox"/>
第14回	行財政と地理学	地方財政やガバナンスといった、人々の暮らしを支える行政部門の仕組みについて空間的視点から説明する。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	全体のまとめ、及び各回の小テストで出た質問やコメント、レポート提出時の注意点について解説する。	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)

予習2時間、復習2時間程度を目安としている。各講義の参考文献を授業内で紹介するので、授業前後に読み理解を深めること。また、各回につき小テストを実施する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回で実施する小テストの内容や、質問・コメント等については、適宜授業内で紹介し解説を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	地理学が何をどのような仕方で明らかにしようとするのかを理解し、場所・地域・空間や景観・環境などの地理学の基礎概念を習得することで、地域における様々な現象を地理学的に考察する見方や考え方を身に付ける。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
		50%	50%	0%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

各回ごとに小テストを実施する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	竹中 克之編 2015. 『人文地理学への招待』 ミネルヴァ書房.	
2	竹中 克行、梶田 真、山村 亜希、大城 直樹 2009. 『人文地理学』 ミネルヴァ書房.	
3	上野 和彦、椿 真智子、中村 康子編 2015. 『地理学基礎 第2版』 地理学基礎シリーズ1. 朝倉出版.	
4		
5		